

◎ソロ・コントラバス奏者

石川 滋

Shigeru Ishikawa

ソロに向かない楽器
そんなイメージを変えたいです

「4月のプログラムで演奏するマーラーの交響曲第1番の第3楽章はコントラバスのソロで有名です。冒頭の8小節、30秒ほどですが」

コントラバスの首席ならだれに聞いてもあれは悪夢と言うでしょう。単純なメロディーだから簡単だと思われそうですが、実は演奏家にとって最悪の条件なんです。第2楽章が大音量で終わり、突如訪れる静寂。そのコントラストが大きいし、元気のいいメロディーならまだしも、繊細に弾かねばならない。ミュート（弱音器）をつけるからどうしても音がしょぼくなる。

加えて、コントラバスはオーケストラではめったにソロがありません。つまり、失敗すると挽回するチャンスがない。このソロがうまくいかないと次回公演までダメという烙印を押されちゃう（笑）。いわば逆境の中、緊張の極致での演奏です。この30秒は自分の手じゃないような感覚になる。自分との闘い。弾くたびに勉強になります

し、それで成長しますね。

「4月にはチャイコフスキーの交響曲第6番〈悲愴〉も演奏します。この曲もコントラバスは目立ちますね」

〈悲愴〉は始まりも終わりもコントラバスです。全員そろって弾くから、別の意味で緊張感があります。心臓の鼓動のようなラストは、弓で弾く人とピッツィカートの人と半々になって静かに終わりますが、うまくいくとほっとします。これも大変な曲です。

「5月には、映画『ゴッドファーザー』のテーマ音楽の作曲者ニノ・ロータのコントラバス協奏曲に挑みます」

この曲は「音楽の冗談」が基本コンセプトで、しかめっ面して弾く曲ではありません。コントラバス弾きじゃないと分からないジョークが満載です。冒頭、ラのアルペジオで始まり、一番上の音はラでなければならないのにソにいく。つまり、上がりきらない。そんなジョーク。コントラバスのエチュードや他の曲のパロディも出てきます。気軽に楽しんでいただきたい。

「コントラバス協奏曲といえば、久石譲さんが石川さんのために作曲した作品があります。久石さんの指揮で昨年10月に初演しました」

実は、僕が録音したバッハの無伴奏



久石譲氏の作曲、指揮によるコントラバス協奏曲を演奏する石川氏（昨年10月、日本テレビ提供）

チェロ組曲のCDを差し上げたら、久石さんがとても気に入って下さってね。それが発端です。「グルーヴ」という言葉でほめてもらった。グルーヴはジャズ用語で、リズムの粋の良さとか、ノリとかという意味です。僕もジャズをかじっていて、グルーヴ感を大事にしているから嬉しかった。双方の思いを知った日テレのプロデューサー斎藤政憲さんが、久石さんにコントラバス協奏曲を委嘱してくれて、僕のために久石さんが書いてくれたというわけです。ミニマル・ミュージックの手法をベースにした、実にかっこいい曲なんです。

「石川さんの母方の叔父はスズキメソードの創設者・鈴木慎一氏で、母親はヴァイオリニスト、叔父はジャズのベーシスト。そんな環境で育った石川さんは都立新宿高時代にコントラバスを

始め、慶應大学経済学部に進学。桐朋学園のディプロマコースにも通った。慶大卒業後は米国に留学、欧米の楽団で25年の経験を積み、2013年読響に入った」

音大を出ていないことにコンプレックスはありますかと尋ねられたことがあります、

まったく逆で、回り道をして良かったと思っています。バーンスタインもヨーヨー・マもハーバード大学を出ているんですね。学生時代、日本って実力だけでなく色々としがらみがあるから、自分は成長できないと思った。卒業後、迷うことなく米国に飛び出したんです。

もちろん、これからもオーケストラでの演奏が中心ですが、コントラバスという楽器を始めた時から、「コントラバスはソロに一番向いていない」という見方を変えたいと思っていた。低音では音が通らないし、包み込むような音色だから確かにソロは難しい。でも、オーケストラの協奏曲にも挑みたい。個人のリサイタルも毎年続けます。ソロ楽器としては一般に浸透していませんが、この楽器の魅力を伝えていきたいと思っています。

トスカニーニ国際コンクール準優勝の三ツ橋が振る〈ボレロ〉

5/15 (日) 14:00 第88回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
横浜みなとみらいホール

レスピーギ：バレエ音楽〈風変わりな店〉から

レスピーギ：交響詩〈ローマの噴水〉

ニーノ・ロータ：コントラバスと管弦楽のための協奏的ディヴェルティメント

ラヴェル：ボレロ

指揮：三ツ橋敬子

コントラバス：石川 滋（読響ソロ・コントラバス）



©Walter Garosi
三ツ橋 敬子



©読響
石川 滋

欧州で活躍する俊英カラビッツが得意のプロコフィエフを指揮

5/24 (火) 19:00 第558回 定期演奏会
サントリーホール

プロコフィエフ：交響的絵画〈夢〉

ハチャトゥリアン：フルート協奏曲

プロコフィエフ：交響曲 第5番

指揮：キリル・カラビッツ

フルート：エマニュエル・パユ



©Sasha Gusov
キリル・カラビッツ



©Josef Gschnaller
licensed to EMI Classics
エマニュエル・パユ

〈ロミオとジュリエット〉&“世界の女王”ムローヴァが共演！

5/28 (土) 14:00 第187回 土曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場コンサートホール

5/29 (日) 14:00 第187回 日曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場コンサートホール

5/31 (火) 19:00 第592回 サントリーホール名曲シリーズ
サントリーホール

ベルリオーズ：序曲〈ローマの謝肉祭〉

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲

プロコフィエフ：バレエ音楽〈ロミオとジュリエット〉から

指揮：キリル・カラビッツ

ヴァイオリン：ヴィクトリア・ムローヴァ



©Susie Ahlburg
キリル・カラビッツ



©Henry Fatt
ヴィクトリア・ムローヴァ

5月 公演の聴きどころ

15日は、イタリアのトスカニーニ国際指揮コンクールで準優勝し、現地を拠点に躍進する若手・三ツ橋敬子が登場。レスピーギの交響詩〈ローマの噴水〉などイタリアの作曲家の名曲で、本場で磨いたセンスを発揮してくれそう。また、ラヴェルの傑作〈ボレロ〉でも腕をふるう。映画『ゴッドファーザー』の音楽で知られるニーノ・ロータの協奏的ディヴェルティメントでは、読響ソロ・コントラバス奏者の石川滋が共演。ロマンティックな旋律の中に高度な技巧を盛り込んだ作品で、コントラバスの多彩な魅力を楽しめる。

5月下旬には、英国ボーンマス響の首席指揮者を務めるウクライナ出身の有望株キリル・カラビッツが初登場。2プログラムを指揮し、CDでも評判のプロコフィエフの交響曲などを取り上げる。24日の定期では、ベルリン・フィル首席フルート奏者を務める名手エマニュエル・パユを迎え、ハチャトゥリアンの協奏曲を披露。民族音楽風のフレーズが個性的な情熱をかき立てるこの曲で、パユは超絶技巧を聴かせてくれるだろう。

カラビッツは、得意のプロコフィエフの交響曲第5番でも^{こんしん}渾身の演奏を響かせる。作品番号が100であるこの曲は、第二次世界大戦末期にプロコフィエフが祖国愛に駆り立てられ作曲した名作で、プロコフィエフ作品の中でも人気の曲の一つだ。28日、29日、31日は、シェイクスピア没後400年の節目に、その代表的な戯曲を基にしたプロコフィエフの名バレエ音楽〈ロミオとジュリエット〉を指揮する。第1組曲から“ロミオとジュリエット”“タイボルトの死”、第2組曲からは、さまざまなCMでもおなじみの“モンタギュー家とキャピュレット家”と、“少女ジュリエット”“踊り”などを演奏。オペラでも活躍する俊英カラビッツの切れ味鋭く鮮やかなプロコフィエフを期待したい。協奏曲ではロシア出身の世界的ヴァイオリニスト、ヴィクトリア・ムローヴァが弾くシベリウスも聴き逃さない。

(文責：事務局)

読響チケットWEB

検索

多才な活動で注目を浴びる鈴木優人、待望の初登場！

6/7 (火) 19:30 第10回 読響アンサンブル・シリーズ
よみうり大手町ホール ※19:00から解説

《鈴木優人指揮の小編成オーケストラ》
武満徹：地平線のドーリア C. P. E. バッハ：チェンバロ協奏曲
メンデルスゾーン：交響曲 第1番
指揮・チェンバロ：鈴木優人



鈴木優人

ウィーン響などで絶賛された名匠エルツの〈展覧会の絵〉

6/11 (土) 14:00 第89回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
横浜みなとみらいホール

6/12 (日) 15:00 第2回 パルテノン名曲シリーズ
パルテノン多摩大ホール

グリムカ：歌劇〈ルスランとリエドミラ〉序曲 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番
ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲〈展覧会の絵〉
指揮：オラリー・エルツ ピアノ：アンナ・フェドロヴァ



オラリー・エルツ

カンブルランが振る二つの名曲〈皇帝〉&〈火の鳥〉

6/18 (土) 14:00 第188回 土曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場コンサートホール

6/19 (日) 14:00 第188回 日曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場コンサートホール

ストラヴィンスキー：管弦楽のための4つの練習曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番〈皇帝〉、バレエ音楽〈プロメテウスの創造物〉から
ストラヴィンスキー：バレエ組曲〈火の鳥〉(1919年版)
指揮：シルヴァン・カンブルラン ピアノ：ハヴィエル・ペリアネス



シルヴァン・カンブルラン

好評カンブルランのブルックナー、デュティユーではケラスが共演！

6/24 (金) 19:00 第559回 定期演奏会
サントリーホール

ベルリオーズ：序曲〈宗教裁判官〉
デュティユー：チェロ協奏曲〈遙かなる遠い世界〉
ブルックナー：交響曲 第3番〈ワグナー〉
指揮：シルヴァン・カンブルラン チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス



ジャン＝ギアン・ケラス

迫力のクライマックス！ 華麗なるマーラーの大管弦楽

6/29 (水) 19:00 第593回 サントリーホール名曲シリーズ
サントリーホール

6/30 (木) 19:00 第14回 大阪定期演奏会
フェスティバルホール（大阪）

リスト：ピアノ協奏曲 第2番 マーラー：交響曲 第5番
指揮：シルヴァン・カンブルラン ピアノ：小菅 優



小菅 優

ウィーン放送響率いる新鋭マイスターが振る〈悲劇的〉

7/14 (木) 19:00 第560回 定期演奏会
サントリーホール

ハイドン：交響曲 第6番〈朝〉
マーラー：交響曲 第6番〈悲劇的〉
指揮：コルネリウス・マイスター



コルネリウス・マイスター

欧州で活躍する二人の実力派が贈る《直球プログラム》

7/18 (月祝) 14:00 第90回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
横浜みなとみらいホール

7/19 (火) 19:00 第594回 名曲シリーズ
サントリーホール

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲
ブラームス：交響曲 第2番
指揮：コルネリウス・マイスター
ヴァイオリン：バイバ・スクリデ



コルネリウス・マイスター



バイバ・スクリデ

俊英リープライヒの〈運命〉× 期待の新星・牛田のショパン

7/23 (土) 14:00 第189回 土曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場コンサートホール

7/24 (日) 14:00 第189回 日曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場コンサートホール

メンデルスゾーン：序曲〈フィンガルの洞窟〉
ショパン：ピアノ協奏曲 第2番
ベートーヴェン：交響曲 第5番〈運命〉
指揮：アレクサンダー・リープライヒ
ピアノ：牛田智大



アレクサンダー・リープライヒ



牛田智大

お申し込み・
お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390
(10:00～18:00/年中無休)
ホームページアドレス <http://yomikyo.or.jp/>

軽井沢大賀ホール 2016 春の音楽祭

■ 5/4 (水・祝) 16:00 軽井沢大賀ホール

指揮：下野竜也

《オール・ベートーヴェン・プログラム》

ベートーヴェン／序曲〈レオノーレ〉 第3番

交響曲 第4番

交響曲 第5番〈運命〉

[料金] SS ¥8,000 S ¥7,500 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥3,500 W ¥4,000

[お問い合わせ] 軽井沢大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555

長野市芸術館オープニング公演

完売

■ 5/8 (日) 17:00 長野市芸術館

指揮：久石 譲

久石 譲／祝典序曲(世界初演)

ペルト／交響曲 第3番

チャイコフスキー／交響曲 第5番

[料金] S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥4,000

[お問い合わせ] NACA チケットセンター 026-219-3191

第17回東京国際音楽コンクール入賞デビューコンサート

■ 5/19 (木) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール

指揮：コリーナ・ニーマイヤー

太田 弦

ディエゴ・マルティン・エチェバリア

プロコフィエフ／バレエ音楽〈ロミオとジュリエット〉より第2組曲

チャイコフスキー／幻想序曲〈ロミオとジュリエット〉

交響曲 第5番

[料金] S ¥2,500 A ¥2,000

[お問い合わせ] 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999